

(仮称)市民総合健康保健センター建設基本計画

～素案～

平成26年10月

宮古島市

目 次(素 案)

1. 計画策定の目的	1
2. 宮古島市の概況	
(1)本市の概要	2
(2)上位・関連計画の整理	6
3. 既存施設の状況	
(1)事業の実施状況	9
(2)利用者数	10
(3)既存施設の課題整理	12
4. 整備方針	
(1)基本理念と基本方針	14
(2)施設機能	16
(3)施設の諸室構成	17
(4)事業展開	19
(5)今後の課題	20
資料編	
(1)職員アンケート	21
(2)保健師会議会議録	27
(3)参考資料	27

1. 計画策定の目的

健康は日常生活及び社会生活における基盤であり、生涯にわたる心と体の健康づくりを進めるため、日常から健康づくりに向けた取り組みが必要です。本市では、第1次宮古島市総合計画に掲げている「笑顔とふれあいで、ともに支えあう健康福祉の島」を目指し、そのための環境及び健康づくりを推進しています。

現在の保健センター事業は、平良保健センターと下地保健福祉センターの2ヶ所を拠点として分散して実施しているため、市民の利便性及び事業効率の低下が懸念されています。

また、保健センター事業の中心を担っている平良保健センターは、昭和62年に合併前の旧平良市の保健センターとして建設されました。現在でも、市民の生涯にわたる健康づくりを推進するため、保健サービスの拠点として機能していますが、合併による事業対象市域の拡大や社会情勢の変化による保健事業の増大など、施設の狭あい化が顕著になっています。さらに、建設後27年を経過し、建物や設備の老朽化が著しい状況となっています。

こうしたことから、本計画は総合的な健康づくりのための新たな拠点施設の建設に向けた方針を定め、乳幼児から高齢者まで全ての市民が保健と健康増進サービスを安心して受けられる環境を整備します。



平良保健センター(外観)



平良保健センター(内部エントランス)

2. 宮古島の概況

(1)本市の概要

①地勢

宮古島市は、沖縄本島の南西約 290km に位置しています。、総面積 204, 39 km²を有し、大小 6 つの島々(宮古島、池間島、大神島、伊良部島、下地島、来間島)から構成されています。島々は全体が概ね平坦で低い台地状で、大きな河川もなく、生活用水等のほとんどを地下水に頼っています。

地層はほとんど隆起サンゴ礁を母岩とする琉球石灰岩からなり、砂岩と沈泥状の泥板岩が重なりあったブロックで形成されています。土壌は島尻マーヅの他、一部にジャーガル、沖積土壌が見られ、弱アルカリ性又は中性で粘土とローム層を含み、石灰岩の破片が混入した石質粘土やその他数種の粘土が広範囲に分布しています。

②気候

宮古島市の気候は、高温多湿な亜熱帯海洋性気候に属し、年平均気温は約 23℃、年平均湿度も約 80%と高く、1 年を通して寒暖の差が少ない穏やか気候です。

5 月から 6 月下旬までは、梅雨期で、年降雨量の 20%がこの時期に降ります。また例年、夏から秋にかけて台風が年平均 3.9 個接近しています。

③宮古島市の沿革

本市は、平成 17 年 10 月に平良市、城辺町、下地町、上野村、伊良部町の旧 5 市町村の合併により、宮古島市が誕生しました。合併に伴い宮古島市の人口規模は県内 8 番目の都市となり、市の行政区域面積は、県下 4 番目の面積規模となっています。

合併後からの現在までの人口推移(各年 12 月末日)は、平成 17 年には 56, 243 人でしたが、平成 25 年には 55, 006 人とやや減少傾向にあります。

④健康に関する概要

1) 寿命について

平成 22 年に調査された厚生労働省の市町村別平均寿命によると、宮古島市の平均寿命は、男性で 78.0 歳(県内最下位)、女性で 86.2 歳(県内 37 位、最下位から 2 番目に低い)という結果になっています。

また、早世死亡率(65 歳未満の死亡の割合)が、全国よりも高い割合のため、若年から健康に対する意識づくりや取り組みが必要です。

2) 主要死因について

宮古島市の主要死因の多くは、生活習慣病(悪性新生物や心疾患など)で、死因全体の半数以上を占めています。

日常から生活習慣病を予防する取り組みが必要です。

3) 出生について

宮古島市の平成 20 年～24 年の合計特殊出生率は、2.27 と全国 3 位です。その中で、低出生体重児の出生率が、全国や沖縄県と比較して高い状況にあることから、妊娠前・妊娠期の健康づくりを行う必要があります。

4) 特定健康診査・特定保健指導の状況

宮古島市における特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率は、年々増加しています。(表 1) 生活習慣病予防のため、さらなる受診率・実施率の向上が望まれます。

年度	対象者数 (40～74歳)	特定健康診査 受診率	特定保健指導 実施率
平成21年度	11,850	32.9%	38.0%
平成22年度	11,801	37.0%	38.2%
平成23年度	11,896	37.7%	45.2%
平成24年度	11,769	37.6%	49.1%

(資料:「平成 25 年度 統計みやこじま」)

5) がん検診の状況

がんによる死亡を防ぐために重要なのは、がんの早期発見です。自覚症状がなくても定期的ながん検診を受けることが必要です。

表2からみても受診率は、ほぼ横ばいとなっており、受診率向上のため、啓発活動などをより一層継続して行う必要があります。

年度		胃がん 検診	大腸がん検 診	肺がん 検診	子宮がん 検診	乳がん 検診
		(40歳以上)	(40歳以上)	(40歳以上)	(20歳以上)	(40歳以上)
H22	受診率	7.6%	10.8%	16.5%	33.1%	31.0%
	対象者数	18,819	18,819	18,819	12,717	10,174
H23	受診率	8.3%	10.7%	15.0%	32.0%	29.3%
	対象者数	18,843	18,843	18,843	12,781	10,119
H24	受診率	6.6%	9.1%	13.4%	31.6%	27.6%
	対象者数	18,815	18,815	18,815	12,522	9,999
H25	受診率	6.9%	9.5%	12.7%	34.0%	27.8%
	対象者数	18,810	18,810	18,810	12,385	10,025

(資料：健康増進課提供)

6) 介護保険の認定者数

宮古島市の要介護(支援)認定者数は、年々増加しており、平成25年度は、3,361人であり、現在の介護区分となった平成18年10月の2,496人と比べ、約1.3倍(865人)も増加しています。

7) 各種予防接種

感染症対策として、DTP(ジフテリア・百日咳・破傷風)、ポリオ、MR(麻疹・風疹)など各種予防接種を実施しています。また、接種率の向上のため、接種効果の周知を行っています。

8)健康づくり推進ボランティア団体について

宮古島市では、健康づくりを推進することを目的に各種団体がボランティア活動をしています。

ア.食生活改善推進員

宮古島市食生活改善推進員協議会として、市民の健康保持増進のため、組織的に栄養及び食生活の実践活動を推進する活動をしています。

イ.健康づくり推進員

宮古島市健康づくり推進員は、行政や関係機関等と一体となり、市民(地域)ぐるみの健康づくりを推進するボランティア組織です。

ウ.母子保健推進員

宮古島市母子保健推進員連絡協議会として、母子保健の健康保持と推進を図るため、妊娠、出産、育児などに関する母子保健の向上に努めています。

9)既存保健センターの概要

・平良保健センター

場 所 宮古島市平良字下里 442 番
建 設 年 昭和 6 2 年 9 月 (1987 年)
構 造 鉄筋コンクリート造 平屋建て
敷地面積 1, 5 9 5 m²
延床面積 6 0 0 m²
職 員 数 9 名 (平成 26 年度)

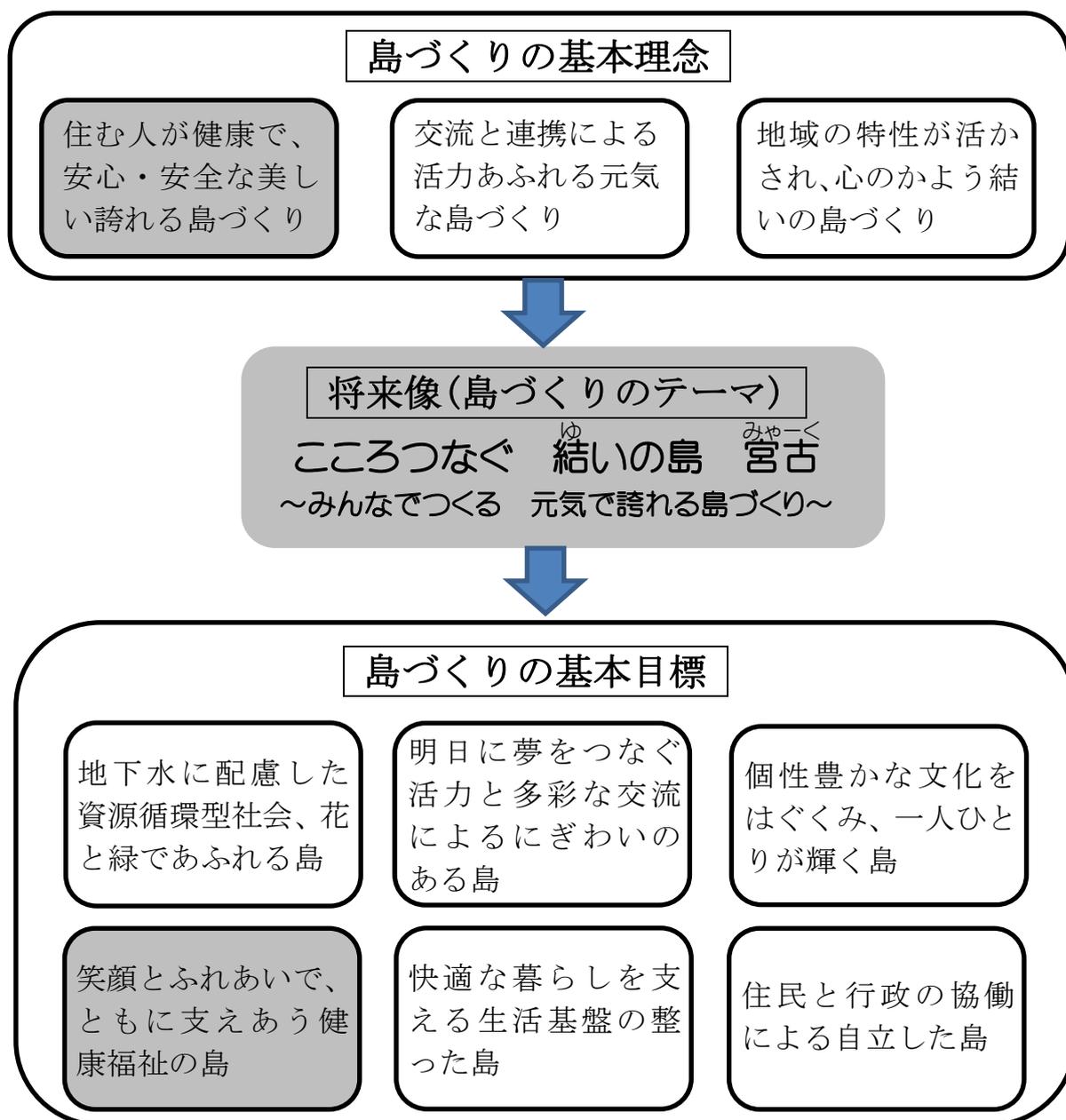
・下地保健福祉センター

場 所 宮古島市下地字上地 505 番地
建 設 年 平成 1 8 年 3 月 (2006 年)
構 造 鉄筋コンクリート造 平屋建て
敷地面積 1, 3 0 0 m²
延床面積 8 3 6 m²
職 員 数 7 名 (平成 26 年度)

(2) 上位・関連計画の整理

① 上位計画

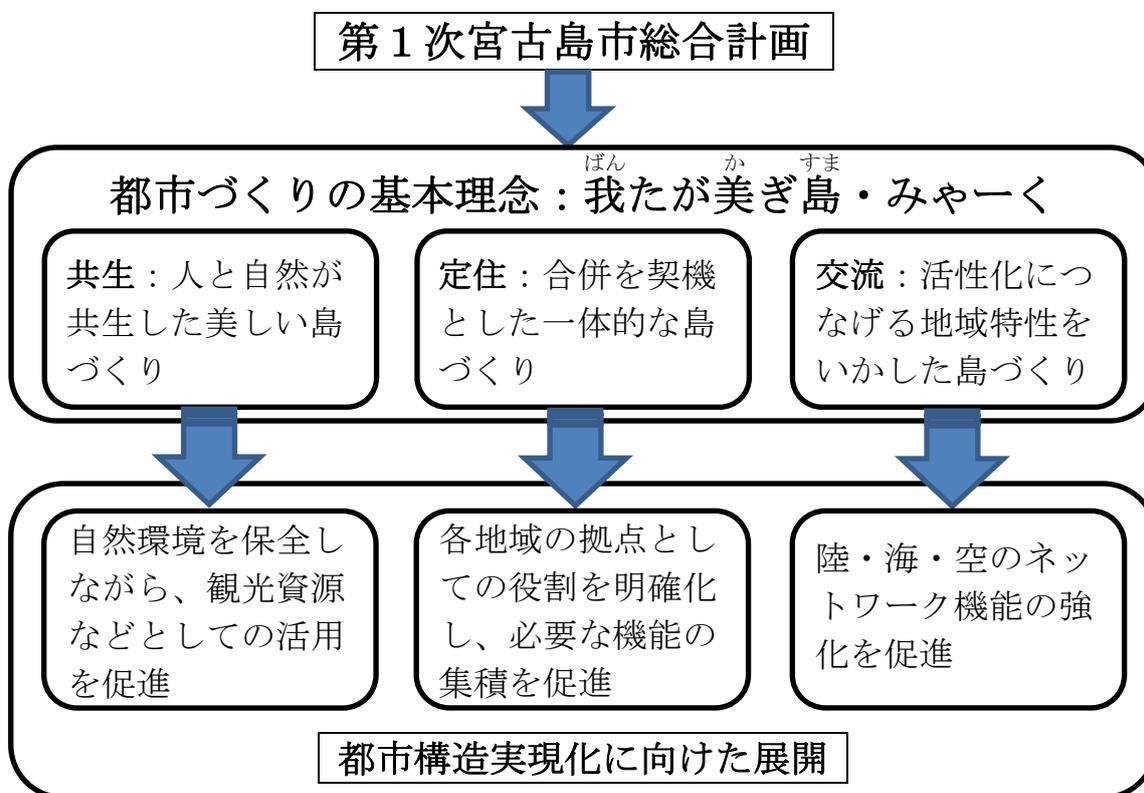
1) 第1次宮古島市総合計画(後期計画 平成24年4月)



第1次宮古島市総合計画における健康に関するキーワードを整理すると、宮古島市は、「人」「まち」「自然」がともに「健康」で、それを基盤として、ともに支え合い生きる「結い」のころを大切にしながら、まちづくりを進めています。

2) 都市計画マスタープラン(平成21年3月)

第1次宮古島市総合計画における将来像に即し、新たな都市づくりの方針を定めている。



まちづくり(施設整備)に関するキーワードを整理すると、宮古島市は、「自然環境との共生」、「必要機能の集積」、「ネットワーク機能」の促進を掲げ、まちづくりを展開しています。

②関連計画

1) 健康みやこじま21(平成25年3月改定)

生活習慣病予防に視点をおいた健康増進計画「宮古島市健康の輪推進プラン ～うぶた減る脂大作戦～」(平成20年3月)の達成状況を評価し、引き続き、生活習慣病の一次予防と重症化予防を重視した取り組みを推進しています。

この計画では、「生活習慣病の予防」、「生活習慣・社会環境の改善」、「こころの健康」を掲げています。健康づくりの主体である市民の自主的な取り組みを支援していくため、関係機関、関係団体、行政等が協働で、ライフステージに応じた健康の実現を目指しています。

2) ^{みやこ}宮古の子・育成プラン

(宮古島市次世代育成支援行動計画 後期 平成22年3月)

基本目標の1つに、健やかな成長を支える健康づくりの推進を掲げています。「母子保健サービス推進」「思春期教育の充実」「食を通しての教育の推進」を基本方針に、将来を担う子ども達、その保護者及び次世代の親となる青少年を対象に、それぞれのライフステージに応じた健康づくりの支援を行います。

3. 既存施設の状況

(1) 事業の実施状況

平成25年度において、平良保健センター及び下地保健福祉センター、その他施設(各地区公民館等)で実施した事業等は、以下のとおりである。

各事業をみると、保健センターの基本的な必要諸室に加えて、相談業務などプライバシーに配慮した相談室の必要性がうかがえる。また、講座や教室、ボランティア活動など多目的に使用できる室や集団健診・予防接種、講演などの多数の利用者に対応できるホール等が求められているのが分かる。

①母子保健事業

1) 乳幼児健診

乳児(4ヵ月、10ヵ月)、1歳半、3歳児の発達状況確認と育児相談。

2) 母親学級

安心・健やかな出産のために妊婦・夫に必要な知識と情報交換の場を提供。

3) 赤ちゃん広場

生後3ヵ月までの赤ちゃんと母親の育児教室。

4) すくすく相談

乳幼児健診後のフォロー教室。

5) のびのび教室

乳幼児健診後の二次スクリーニングとして、発達要支援児や親への支援を行う。

6) 妊婦健診・母子手帳交付

妊娠した女性に母子手帳・妊婦健診受診券の交付・相談。

7) 母子保健推進員活動

母子事業ボランティアの定例会活動。各地域ごとに定例会及び総会を各々年1回開催。

8) 各種予防接種

各種感染症予防のため、集団予防接種を実施。

②健康増進事業

1)がん検診

各種がん検診、基本健診、特定健診を集団で実施。

2)婦人健診

婦人健診を集団で実施。

3)健康相談

週1回、健康相談を実施。

4)からだにいい教室

生活習慣病予防のため、知識や運動の実技を習得する教室。

5)健康づくり推進員育成講座

健康づくり・運動に関するボランティアを育成するために、養成講座を2年に1度実施。

6)健康づくり推進員活動

運動に関するボランティア活動。会員数約30名。

7)健康相談・訪問指導

検診後に行う若年層の保健指導。

③食育推進事業

1)食生活改善推進員育成講座

食に関するボランティアを育成するために、養成講座を2年に1度実施。

2)食生活改善推進員活動

食に関するボランティア活動。会員数約60名。

3)高齢者の食育

低栄養予防を目的に、高齢者に調理実習と講話を実施。

4)西会津町食改交流会

西会津町との食生活改善交流事業。隔年実施。

④特定健診・保健指導

国保特定健診受診後の特定保健指導を実施。

⑤その他

講演や講習、会議など幅広い用途で事業を実施している。

(2)利用者数

平成25年度の実績を事業別にみると、母子保健事業で12,234人、健康増進事業で8,161人、食育推進事業で640人、特定健診・保健指導で787人、その他で390人が利用し、合計22,212人が保健センター事業を利用しています。(表3)

また、保健センター事業の中心を担っている平良保健センターでは、施設の狭さや必要室がない理由から実施できない事業もあり、実施場所の分散などで対応しています。

表3 平成25年度の事業別利用者数

事業区分	年間実施場所・回数・人数						年間 総実施 回数 (回)	年間 延人数 (人)	1回平均 人数 (人)	
	平良保健 センター (回)	利用者数 (人)	下地保健 福祉セン ター(回)	利用者数 (人)	各地区 公民館等 (回)	利用者数 (人)				
母子保 健事 業	乳幼児健診	48	3,840	6	480	10	360	64	4,680	73.1
	母親学級	18	300					18	300	16.7
	赤ちゃん広場	6	360					6	360	60.0
	すくすく相談	24	178					24	178	7.4
	のびのび教室	12	130					12	130	10.8
	妊婦健診・母子 手等交付	随時	600					随時	600	—
	母子保健推進員 活動	13	290	12	120	24	120	49	530	10.8
	予防接種	26	5,456			※伊良部地区実施分含む		26	5,456	209.8
健康 増進 事業	がん検診	11	1059	3	178	19	1,664	33	2,901	87.9
	婦人検診	16	1291	2	212	18	1,421	36	2,924	81.2
	健康相談	48	650	48	50	12	60	108	760	7.0
	からだにいい 教室			40	732			40	732	18.3
	健康づくり推進 員育成講座			5	150			5	150	30.0
	西会津町食改 交流会			2	150			2	150	75.0
	健康づくり推進 員活動			12	240			12	240	20.0
	健康相談・訪問 指導	14	221	2	16	12	67	28	304	10.9
食育 推進 事業	食生活改善推進 員育成講座			5	150			5	150	30.0
	食生活改善推進 員活動	20	—	12	360	※1回平均人数は、 下地保健福祉センター分		32	—	30.0
	高齢者の食育			4	80	2	50	6	130	21.7
特定健診・保健指導			3	37	25	750	28	787	28.1	
その他(講演・講習・ 会議等)	23	310	2	80			25	390	15.6	

(資料：健康増進課提供)

(3) 既存施設の課題整理

保健センター業務の中心を担う平良保健センターについて、職員アンケート【資料編(1)】を実施し、施設に対する課題、問題点をまとめました。アンケートでは、現場の声として、職員が日常感じている施設の問題点や利用者からの声を自由記述式で答えています。回答内容から既存施設の不便さや求められている必要諸室・機能が分かります。

①相談室(個室)がないため、利用者のプライバシー確保が困難である。

現在は、相談業務や母子手帳交付など廊下や玄関ロビーで行っており、プライバシーに配慮した相談室が必要である。

②施設が狭いため、利用者に不便をかけている。

待合ロビーや利用者の待機スペースがないので、集団事業時には、道路まで利用者の列が続き、利用者に大変不便をかけている。また、会場不足のため、目の検査を調理室で行うなど施設の必要面積・規模が明らかに不足している。

③駐車場が狭いため、利用者に不便をかけている。

駐車場が狭いため、特に集団事業時に止めれない利用者が多い。また、障がい者や妊婦の方たちにも優しいユニバーサルな駐車場が必要である。

④建物や設備の不備・老朽化のため、安全及び衛生上等の問題がある。

雨漏りや排水不良、空調設備の老朽化に加え、集団健診の会場がジュータン敷きで不衛生、トイレや玄関入口などに段差があるなど、施設の問題点が多くあった。また、台風対策(雨戸)や防虫対策(網戸)が必要という意見もあった。

⑤建物や設備の不備・不便さから管理運営上、支障をきたしている。

照明、放送、電話設備の不備や、カルテの保管ルームがないなど、施設の基本的機能の不備が挙げられた。また、部屋数が少なく、1日に事業がひとつしかできないといった課題も挙げられている。

⑥施設を快適に利用できるために、必要と思う諸室や機能について

授乳室、調乳室、おむつ交換スペース、キッズスペースなど乳幼児関連の必要諸室や声かけしやすいカウンターや子ども用トイレ、多目的トイレ、展示や休憩ができるオープンスペースなど共用部の充実が求められている。また、必要機能として大型検診バスが施設に横付けでき、スムーズに受診できることも求められている。

⑦施設利用者からの要望等について

駐車場の狭さに関しての意見を中心に、授乳室、調乳室、おむつ交換スペースなどの改善・要望の意見が多かった。また、運動ができるスペースや市民が自由に活用できる部屋、ボランティアが自由に出入りできる部屋がほしいという意見もあった。

⑧立地環境について

スーパーや公園が近くにあり便利という声がある一方で、交差点近くに駐車場の出入口があるので、混雑して危険という意見があった。また、病院や役所、保健所など公的機関に近く、他機関との連携調整に便利な場所であるという利点も挙がっている。

⑨平良保健センターの長所について

スーパーや公園が近くにあることで、用事も兼ねて来所できる立地条件の良さや、乳児の身体計測などで気軽に施設利用ができる点が挙げられている。

4. 整備方針

(1) 基本理念と基本方針

① 基本理念

基本理念は、宮古島市の上位計画や関連計画から健康に関するキーワードを抽出し、(仮称)市民総合健康保健センター建設の基本理念として設定します。

■ 基本理念

「人」「まち」「自然」が健康の輪でつながる
健康・保健活動の拠点となる施設を建設します。

1) 「人」が健康

健康づくりの主体である市民の自主的な取り組みを支援し、全てのライフステージにおいて市民が安心・安全に健康・保健サービスを受けられるように、必要機能を整備します。

2) 「まち(地域、施設)」が健康

健康づくり推進ボランティアなどの地域活動拠点となり、地域の健康課題に対し、市民と行政等が協働で取り組める環境を整備します。また、施設全体を利用者にとってやさしく、使いやすい健康な施設を整備します。

3) 「自然」が健康

自然環境に考慮し、省エネルギー技術の導入や自然エネルギーの積極的活用などにより、環境負荷の低減を図ります。

②基本方針

基本方針は、基本理念を踏まえ、既存施設の課題や保健センターの必要機能などから、新施設に求められている役割を設定します。

■基本方針

1) 市民が利用しやすい保健センター

保健センターでは、各種健康相談などプライバシーに関わる事業が多いのが特徴です。健康・保健の拠点として市民にひらかれた場所であるとともに、プライバシーに配慮した機能も必要です。

また、集団健診・各種検診や集団予防接種など、狭あいによる混雑を解消し、多数の利用者が快適に受診できるゆとりある環境を整備します。

2) だれにでもわかりやすい保健センター

現在分散して行っている保健センター事業の必要機能を集積させ、「健康・保健活動の拠点」として、だれにでもわかりやすく、健康・保健サービスを気軽に利用できる保健センターを整備します。

3) 人にやさしく健康な施設

障がいの有無、年齢、性別などを問わず、だれにでもやさしく、快適に利用できるように、施設全体を(※1)ユニバーサルデザインに対応した施設にします。

また、施設自体も健康であるために、維持管理が容易に行える内外装や設備を取り入れ、メンテナンスや更新時の負担低減を図り、長寿命な施設を目指します。

(※1)ユニバーサルデザイン：

バリアフリーは、障がいによりもたらされるバリア(段差等)に対処するとの考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいようデザインする考え方。

4) 自然環境への対応

環境負荷低減のため、省エネルギー技術の導入や自然エネルギーを積極的に活用します。

また、自然災害時には(※2)福祉避難所としても柔軟に対応できるように、必要な機能を備えます。

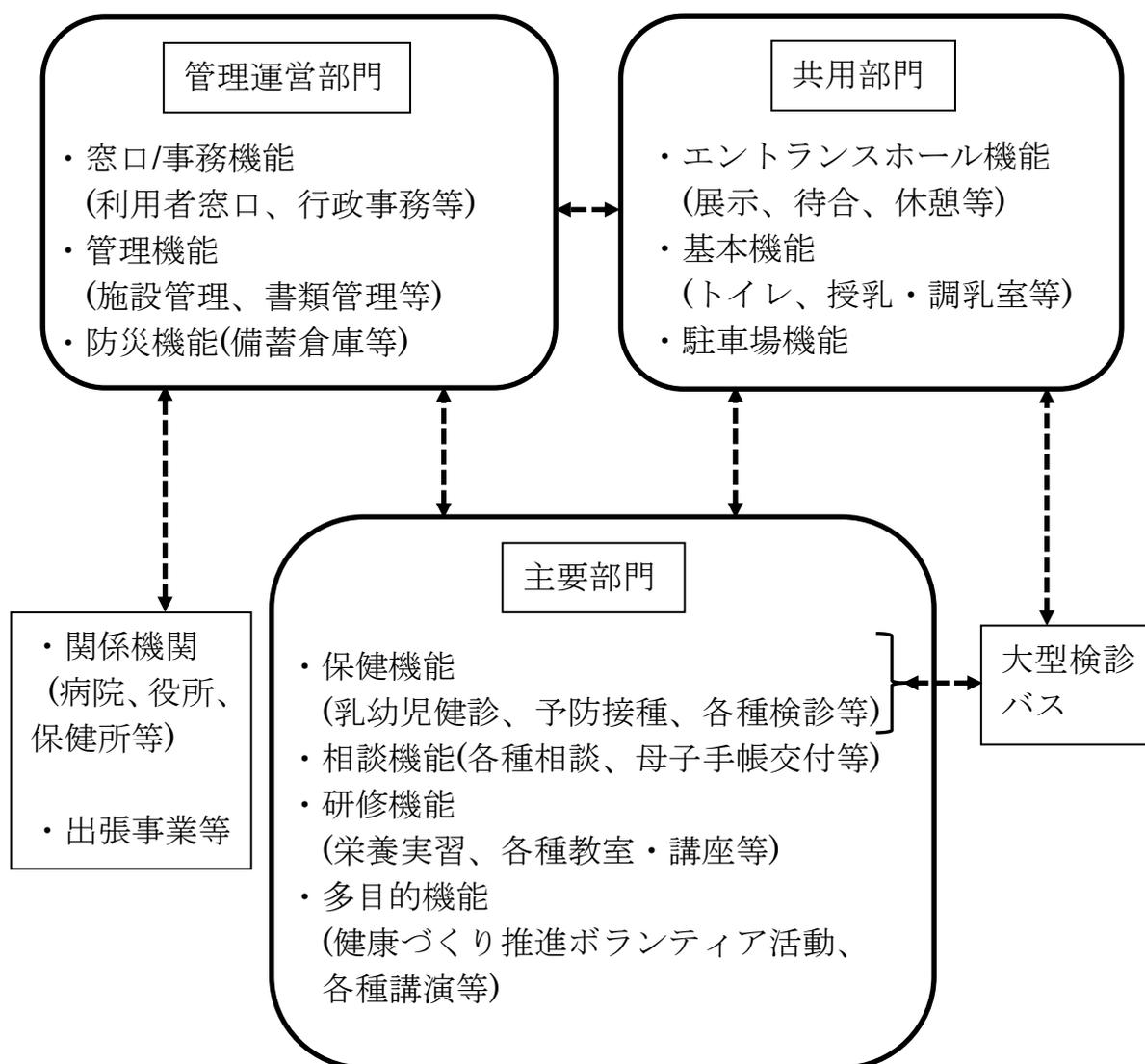
(※2)福祉避難所：

高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、病弱者等、避難所生活において何らかの特別な配慮を必要とする者を対象者としている。なお現在、平良保健センターは宮古島市地域防災計画において、地震・津波災害時の福祉避難所の一つとして指定されている。

(2) 施設機能

施設機能については、既存事業の実施状況や既存施設の課題整理からみえてきた施設の基本機能や必要機能をまとめ、3つの部門に分けて設定しています。また、施設内部だけでなく、大型検診バスとの接続機能及び関係機関や出張事業など、外部とのネットワーク機能にも柔軟性を持たせることで、将来の事業拡大や変化にも対応できる仕組みが必要です。

さらに、主要部門には多目的機能として、健康づくり推進ボランティア団体などが気軽に健康・保健活動に取り組める機能を設け、市民と行政等が協働で健康・保健活動を行うことができる構成とします。



(3)施設の諸室構成

①想定諸室と用途

施設規模については、既存施設の利用状況や今後の事業増加を考慮し、諸室面積を検討します。また、主要部門では室の機能を固定せず重ね使い(多目的利用)をすることで、施設の効率的利用を図ります。

表4 想定諸室・用途等

部門	想定諸室	想定用途	最大想定人数	備考
共用部門	エントランスホール	待合、展示、休憩スペース、キッズスペース等	—	風徐室、ベビーカー置場
	授乳室・調乳室		—	おむつ替え台
	トイレ	成人男女用、幼児用、多目的トイレ(オストメイト対応)	—	
	廊下・階段・エレベーター等	廊下は、ピーク時の待合利用も想定	—	
管理運営部門	事務室	健康増進課移転を想定	50名	窓口カウンター
	医務室	簡易な治療等	—	
	会議室	事務室専用(応接含む)	—	
	書庫1	カルテ、予防接種問診票保管	—	機密文書等
	書庫2	行政文書保管	—	一般行政文書等
	倉庫	物品保管	—	
	更衣室	職員ロッカー	—	
	給湯室		—	
	洗濯室・リネン室		—	
	洗濯干場		—	
	防災備蓄倉庫		—	
	機械室		—	
	警備室		—	
主要部門	診察室	各種診察、相談、測定等	2～3名	2室、更衣スペース
	相談室1～5	各種健康相談、母子手帳交付、特定保健指導等	4名/室	5室(内、和室1室)遮音性確保
	研修室1・2	母親学級、のびのび教室、食生活改善推進員育成講座、健康づくり推進員育成講座、高齢者の食育、各種会議室利用等	20名/室、30名/室	2室、倉庫
	栄養実習室	食生活改善推進員活動、高齢者の食育、西会津町食改交流会	30名	試食コーナー
	トレーニングルーム	運動教室等	50名	器具庫
	多目的室1・2	健康づくり推進ボランティア活動等	20名/室	2室(可動間仕切)倉庫
	多目的室3(和室)	調理試食、集団健診時の子ども預かり等	30名	倉庫
	多目的ホール	乳幼児健診、赤ちゃん広場、すくすく相談、集団予防接種、各種がん検診、婦人検診、講演等	200名	ステージ、控室、倉庫、授乳コーナー
	脱衣室・シャワー室		—	
	その他	菜園(食育)等	—	外部

②駐車場台数の検討

駐車台数の確保と充実は既存施設の課題にも挙げられ、利用者の利便性に大きく関わる要素です。また、障がい者や妊婦、ベビーカーの利用者にも対応したやさしい駐車スペースが求められています。

駐車場規模については、建設予定地の敷地条件とも関連する内容なので、建設予定地選定と合わせて検討する必要があります。

1)利用者駐車場

目安として平成25年度の事業別利用者数(p11 表3)の1回平均人数から、1回あたりの事業に対し、平均して約43人(台)の利用者が想定されます。また、複数の事業を同時に行うことや、集団事業のピーク時を考慮すると50台以上の確保が望ましいが、今後の建設予定地の敷地条件(敷地面積、近隣公共施設の有無など)によって、駐車場の縮小や相互利用を図れる可能性があるため、引き続き検討する必要があります。

2)検診車の駐車スペース

大型バスの検診車が、施設に横付けでき、施設内の待合いから利用者がスムーズに受診できる配置を検討します。

3)公用車及び職員駐車場

職員数に応じた必要台数を効率的に駐車できる配置を検討します。

(4) 事業展開

事業展開については、(仮称)市民総合健康保健センターを整備するにあたり、管理運営面の課題について整理しています。施設本体だけではなく、管理運営を含めた総合的な検討が必要です。

①事業の集約

現在、平良保健センターと下地保健福祉センター、平良庁舎で分散して実施している保健センター事業及び事務を集約させ、事業効率を高め、保健サービスの充実を図ります。

事業集約後の既存保健センターの跡利用については、事業課である健康増進課が主体となり検討します。

②職員体制

事業集約に伴い、職員人数などの業務実施体制については、事業課である健康増進課が主体となり検討します。

③施設利用について

各種健診や予防接種などを実施する保健センターは、他の公共施設と比べ、特に衛生面に配慮する必要があります。公共施設として単にひらかれた施設ではなく、「健康・保健活動の拠点」としての目的に沿い、利用者が快適に健康・保健サービスを受けることができる環境が必要です。

利便性だけではなく衛生管理面など総合的に考慮し、施設の利用時間帯や利用形態、保健関係機関や市役所他部署等の事業利用などの総合的な施設の管理運営については、施設運営を行う健康増進課が主体となり検討します。

(5) 今後の課題

① 想定面積について

想定諸室について、用途や想定人数から必要面積を算出し、施設全体の規模を検討します。

② 建設予定地について

整備方針を実現でき、利用効率が高い候補地を選定します。

③ 法的条件について

建設予定地の法規制及び各種届出・申請等について整理します。

④ 構造及び工法等について

建設予定地の敷地条件や法規制に照らし合わせながら、計画します。

⑤ 概算事業費について

整備方針及び建設予定地の敷地条件を考慮し、概算工事費等を算出し、総事業費を把握します。

⑥ 土足エリアの検討について

設計段階で、利用者の利便性や衛生管理面を考慮しながら、施設や諸室の配置と同時に検討を行います。

資料編

(1) 平良保健センターの施設に関する職員アンケート

対象職員：健康増進課職員、平良保健センター職員、下地保健福祉センター職員、平良保健センターに勤務経験がある職員

調査期間：平成26年8月4日～8月11日

回答職員数：33名

質問内容

- 問1. 平良保健センターの施設に関して不満・不便に思っていることがあれば、具体的にお書きください。(複数可)
- 問2. 平良保健センターの施設にどのような部屋があれば、利用者が現在より快適に施設を利用できると思いますか。(複数可)
- 問3. 平良保健センターの利用者から、施設に関する要望などが過去にあれば、具体的にお書きください。(複数可)
- 問4. 平良保健センターの電気、機械、その他の設備に関して不満・不便に思っていることがあれば、具体的にお書きください。(複数可)
- 問5. 平良保健センターの好きなどころ、良いと思うところがあれば、具体的にお書きください。(複数可)
- 問6. その他、平良保健センターに関することでお気づきの点がありましたら、自由にお書きください。

回答内容

※注)回答は自由記述式のため、重複回答などは要点ごとに整理し、代表意見を抜粋して掲載しています。また、備品(パソコン、電話機等)など施設内容以外の意見は省略しています。

要点1)相談室(個室)がないため、利用者のプライバシー確保が困難である。

(代表意見抜粋)

- ・玄関ロビーで、赤ちゃん計測や母子手帳を発行し、プライバシーが保てない。
- ・母子手帳交付やその他の相談で来所が重なるため、プライバシーが保てる仕切られた部屋が複数必要。
- ・個別相談を廊下ですべてしていて、プライバシーがない。

要点2)施設が狭いため、利用者に不便をかけている。

(代表意見抜粋)

- ・待合ロビーがない。
- ・600名対象の予防接種時には道路にまで列が続き、対象者に不快な思いをさせている。

- ・予防接種後の経過観察室も全員が入らないため、廊下の両側に椅子を並べ対応している。
- ・玄関スペースで受付する際、人数が多い場合は外まで並ぶので雨のときは大変。
- ・乳幼児健診や予防接種も回数が多いので、対応できるような広い部屋があるといい。
- ・大ホールが小さいので、もうちょっと大きければスムーズな検診等が出来ると思う。
- ・会場不足により、目の検査を調理室で行っている。
- ・検診や予防接種の際の待合所や待機スペースがない。
- ・雨が降ると、検診車までの待合で濡れる。
- ・赤ちゃんの入浴の練習を流し(調理室で)のたらいで行っている。

要点 3) 駐車場が狭いため、利用者に不便をかけている。

(代表意見抜粋)

- ・乳幼児健診時や予防接種など、駐車場の少なさを指摘される。
- ・駐車場が狭く、働く女性の家やパニパニコートの利用者も使用するので、保健センターの利用者が止められないことが多い。(土日の検診や予防接種の時はとても混雑する)
- ・障がい者用・妊婦さん用のユニバーサルな駐車場が欲しい。
- ・隣に公園の駐車場があるが、天候が悪い場合など乳幼児を連れて移動するのは不便で、イベント等が重なる場合は使用できない。
- ・駐車場が狭いために、近隣施設への違法駐車が多く、車の移動の声かけが多い。
- ・集団事業が多いので、とにかく広い駐車場が必要(現在は隣のカママ嶺公園駐車場を利用)

要点 4) 建物や設備の不備・老朽化のため、安全及び衛生上等の問題がある。

(代表意見抜粋)

- ・網戸がなく、乳幼児健診の際にも蚊や蜂などの虫が入ってきたりする。
- ・トイレ、玄関入口など段差がある。
- ・台風後に屋根部分のセメントが落ちたり、ガラスが割れて安全面で不安がある。
- ・台風対策がされていない(雨戸、サッシ等が未設置)
- ・台風や大雨の日には雨漏りする。雨漏りが原因で火災報知器、クーラー等故障した。
- ・乳幼児健診を行うリハビリ室(機能訓練室)が、ジュータンでアトピーの子などの配慮がほしい。(不衛生)
- ・クーラーが年に数回故障する。トイレの床排水が悪い。
- ・大雨の後など下水が臭う。トイレ・台所を清掃しても悪臭がする(排水溝から?)
- ・トイレの入口に仕切りがなく、入りやすいという点があるが、中が見える。
- ・風あると自動ドアが勝手に開閉している。
- ・施設全体が暗い感じがする。
- ・災害時避難場所に指定されている(災害マップに有)が対応できないと思う(施設が狭い。

停電した時に換気が悪いと思う。食糧の備蓄がない。)

要点 5) 建物や設備の不備・不便さから管理運営上、支障をきたしている。

(代表意見抜粋)

- ・リハビリ室(機能訓練室)は、黄色の照明で尿検査の判定などに影響しています。
- ・リハビリ室(機能訓練室)のクーラーの位置がとても高すぎて掃除できない。
- ・ブレーカーが落ちやすく、健診中などだと焦ります。
- ・カルテの保管ルームや裏に畳の部屋があると助かります。
- ・文書やカルテを保存する場所が少ない。
- ・屋根に瓦が使われており、雑草や木が生えやすい。管理しづらい。
- ・ドアの高さが低く、幅も狭い、機器の出し入れが不便だと感じた。
- ・部屋が分かれて作られているので、使い勝手が悪い。
- ・事務室に鍵がかけられない。
- ・館内放送設備がない。
- ・各部屋に電話機があればと思います。電話を繋ぐ際、不便でした。
- ・電話の回線が2つしかなく、電話相談や予防接種や健診の受診勧奨など同時期に電話使用することも多いため、国保や下保と統合した場合は回線を4つぐらいに増やした方がよいと思う。
- ・部屋数が少なく、1日に事業がひとつしかできない。
- ・調理室の湯沸かしの設定が面倒(手間がかかる)。
- ・専用ゴミ捨て場の設置が必要。倉庫、書庫は将来を見据えて大きめのほうがよい。

要点 6) 利用者が施設を快適に利用できるために、必要と思う諸室や機能

(代表意見抜粋)

- ・授乳室、赤ちゃんホルダー付トイレ
- ・おもちゃが設置してあるプレールーム(母子手帳発行時など)
- ・集団で利用する大きめの部屋やホールがあると良い。
- ・乳幼児健診時に親子で待ち時間をゆっくりすごせる部屋(インターホン等で呼び出せる)
- ・キッズスペースがほしい(目を離すとうろうろしてしまう)
- ・はいはいや眠ることができるスペース(畳間)
- ・授乳室、調乳室、おむつ交換するための小部屋がほしい。
- ・健診や予防接種時に兄弟でくる家庭もいると思うので、待機室などの別室があってもいいと思う。
- ・男性用トイレの近くにも乳幼児用の器具が取り付けられていた方がよい。(健診や予防接種も父親がつれてくる場合が多い)
- ・講演会や研修会等ができるよう、舞台にもつかえるような(膝丈位の)スペースがほしい。

- ・運動教室などで活用できる広いフロアー(床高弾性素材)、壁片面、前方天井鏡張り
- ・保健センターは様々な事業が実施される場所であるため、部屋の大きさを仕切って多様に変更できたり、講演会や健診など事業を実施しながら子供を寝かせたり、遊ばせるスペースが必要と思う。
- ・来所者が利用できるシャワー室(子供のおもらしを処理できる場所として)
- ・子供預かりの担当がいる部屋、図書室(本、絵本)、シャワー室(災害用)、発電室(災害用)
- ・子供用のトイレ、障がい者用トイレ、オストメイト用トイレ
- ・全部洋式トイレが良い。
- ・ロビーに展示ができるスペース
- ・相談や教室が終わっても飲み物等が飲めて休めるオープンスペース(自販機等)。
- ・声かけしやすいように、カウンター窓口や表記、業務案内板などがあるとよい(業務外はシャッターなどで閉められるようにする)
- ・児童館や(ミニ)図書館・公民館と併設(またはその機能を持たせる)すれば、子供だけでなく、お年寄りも含めた世代間交流ができる施設になるといいなと思う。
- ・婦人検診の際にも検診車が外なので、屋根があるといいなと思います。
- ・外に遊具があると(八重山のように小さくていいので)、兄弟連れには退屈しなくていいかなと思う。
- ・全体のバリアフリー化・LED化はもちろんだが、ホールでのパワーポイントや映像活用時の器具等の施設への設置(音響含む)
- ・外(庭)で憩いの広場があればいい。
- ・利用者が気軽に声をかけやすい、オープンなひろい受付があるとよいと思う。
- ・靴履きのまま入室できれば良いかも。
- ・検診の場合、流れがスムーズに運ぶため検診バスが横付けされる高さがあれば最適です。

要点 7) 施設利用者からの要望等について

(全意見掲載)

- ・授乳のできる場所がほしい。乳幼児健診の場所が狭い。
- ・乳幼児健診時や予防接種など、駐車場の少なさを指摘される。
- ・健康相談に来所された方より、疾病予防の観点から骨密度測定など簡易でヘルスチェックできるものをおいてほしい。
- ・場所が悪く、駐車場が少ないので不便。予防接種や健診など大勢が集まる時に休めるスペースが少ない。
- ・保健センターなのに汚い、きれいにしてほしいと要望があった。
- ・駐車場を広くしてほしい。カーペットを取り替えてほしい。開閉時間を建物に明記してほしい。託児所や児童館(遊具設置された)を併設してほしい。子供や妊産婦その他住民が利用しやすいように見た目をきれいにしてほしい。台風時に避難・待機できるように整

備してほしい。

- ・他人が履いたスリッパを履きたくない。履き物のままで入れるようにしてほしい。高齢者や中高年の一般市民が健康作りの一環として体操やレクレーションのできる中規模の多目的なスペースが欲しい。(通年で実施している教室等) 障がい者用・妊婦さん用のユニバーサルな駐車場がほしい。(ヤマダ電機等参考)
- ・下地保健センターに設置してある健康機器(トレーニングマシン)があれば良いと思う。
- ・おむつが替えたいんですが部屋はありますか?授乳室はありますか?と聞かれた。
- ・運動のできる広いスペース。
- ・駐車場が不足。施設が狭い。
- ・授乳室がない。トイレに子ども連れで入りづらい。暗い感じ。駐車場が少ない。雨の日子ども連れで来る時が大変。
- ・センター内の駐車場が小さいため、隣接する公園の駐車場を利用するが、雨天または夏の暑い盛りに乳児の移動に不便。
- ・広い駐車場。調乳室。オムツ交換台。汚れ物洗い場。授乳室。
- ・駐車場をもっと広めにしてほしい。シャワー室があったらいい。もう一部屋、大きな部屋があるといい。交通の便が激しい場所に位置しているので、出入りや歩道を横断するのが大変。
- ・雨降りの予防接種時に駐車場がない上に、雨も降っているがどうしたらいいか。
- ・血糖値とか血圧とか気軽に測れるようにしたら良いのに。
- ・駐車場が狭く、探している間に健診時間に間にあわなくなるところだった。
- ・玄関で座って靴の着脱ができればいい(いつも椅子をもってくるので)。子供がトイレで検尿がとりにくい(子供用のトイレではないので)。授乳室や調乳室がほしい。休日も使わせてほしい。玄関で靴のはき違えが多く苦情が多い。ボランティアが自由に出入りできる部屋がほしい。
- ・授乳室、おむつがえスペース、お湯の出る調乳室などはありますか。子どもを遊ばせておける場所はありますか(預かる方はいますか)
- ・健診を行う部屋の床が硬い。子どもが転倒した場合不安という声がありました。
- ・市民が自由に活用できる部屋(がん患者)。健康増進器具が平良保健センターにもほしいという意見があった。
- ・自動販売機を置いてほしい。

要点 8) 立地環境について

(代表意見抜粋)

- ・向かいのサンエーに買い物がてら赤ちゃんの体重測定にくる方も多く利用しやすい。
- ・立地がよく、検診や予防接種会場として便利。
- ・カママ嶺公園が近くにあり、ウォーキングや戸外での活動に便利。

- ・市街地にあり、市民が利用しやすい。
- ・病院や役所、保健所など公的機関が車で5分以内の距離にある。他機関との連携調整に便利。
- ・駐在やサンエー、カママ嶺が近くにあり、場所の説明がしやすく、治安も安心。郵便局があるとなおよかった。
- ・車の道路への出入り口が一か所で、出ていく車と入ってくる車とで混雑し、更にスーパー駐車場の出入り口や交通量の多い交差点に位置していることもあり、何度も事故が起こっているため改善が必要と思う。
- ・周囲の道路環境が悪い(歩道がでこぼこ等)ので、保健センターで出入りする障がいを持つ方は大変だろうなあと感じていた。
- ・緑が少ないので、癒やしの空間が少ないと思う。
- ・周辺に案内看板が少ないので、内地から移住してきた人など施設を探すのが大変な様子。
- ・保健センターから、道路に出る時が危険。信号も近くにあり、下地線からの車が、速いスピードでくるので、危ないことが何度もあった。

要点 9) 平良保健センターの長所について

(代表意見抜粋)

- ・予防接種時受付から接種・待機・帰宅まで1連の流れが入口と出口を違えて出来る所(ただ、職員の出入口とは分けたほうがいいと思います。)
- ・玄関から入ってすぐのロビーに身体測定があるのは、気軽に利用できるきっかけとなりいい。
- ・赤ちゃんや子どもだけでなく、高齢者の健康相談に利用される方もいる。
- ・住民が入りやすい雰囲気があり、乳児の身体計測で来所する方が多く、その時に子育てについての悩み等を相談していく方も多い。
- ・サンエー、公園があることで子連れでもついでに立ち寄ったりと用事も兼ねて来所できるところ。
- ・新米ママの母世代、年配者も場所が昔の場所なので、あそこに行ったら相談できるんじゃないと来所もあった。
- ・事務所内の一部がガラスなので、廊下越しに事務所の中が見えるのでよいと思う。
- ・小規模の集会には最適。
- ・大きな看板があり目立つ。調理室、窓から見える緑。
- ・廊下の導線が使いやすい(行き止まりがない)。昼間(医務スペース)がある。
- ・住民健診や乳幼児健診、予防接種等で住民の方には、何度か利用する馴染みの場所になっているかと思います。
- ・大きすぎない施設は、利用者にとっては、安心感があるのではと思います。
- ・スーパー等が隣接していて、調理実習等対応しやすい。

(2)保健師会議会議録より抜粋(平成 25 年 7 月 17 日)

議題：保健センター新設に向けた職員案

・宮古島市コンセプト(案)

- ①おかあさんと子供の相談ができる。来て楽しい。くつろげる。
- ②母子(障がい児も含めて)の健康管理(妊婦管理・乳幼児健診・相談・教室)が一貫できる。
- ③災害時避難場所となる。
- ④地域の交流の場になる。
- ⑤健康増進(検診・相談・教育)健康づくり・食育等の場になる。
- ⑥ボランティア(食改・健康づくり・母推等)の活動の拠点となる。

・具体的に～こんなスペースがほしい～

- ①プレイルーム(気軽に来て遊べる場所)やキッズコーナー・おもちゃや絵本がある部屋。
- ②図書館が併設していただいたい。
- ③母子健康手帳交付ルーム(個室)
- ④助産相談コーナー(おっぱい相談室みたいな)
- ⑤小さい赤ちゃんを連れて休めるスペース。
- ⑥健康づくりができる運動のスペース。
- ⑦ベビーカーでも乗り入れできるように立体駐車場がいい。
- ⑧フリースペース(市民が集えるくつろぎ空間)がほしい。
- ⑨土いじりができる。食育ができる空間。屋上でもいい。
- ⑩授乳室、おむつ換えスペース、子供用トイレ、オストメイト専用トイレ、シャワー室
- ⑪個室(相談室)がたくさんほしい。(成人保健指導、母子手帳交付)
- ⑫障がい児の訓練の部屋。相談のスペース。診察室。
- ⑬子連れで軽食がとれるカフェ?食事処がほしい。
- ⑭洗濯場・干し場。リネン室がほしい。
- ⑮講演会時 200 人ぐらい収容できる多目的ホール。
- ⑯災害時避難場所となるスペース。シャワー室必要。
- ⑰保育士がいて親子遊びができる場所。
- ⑱各部屋に呼び出し電話がほしい。

(3)参考、引用資料

第 1 次宮古島市総合計画【後期計画】(平成 25 年 3 月)、都市計画マスタープラン(平成 21 年 3 月)、平成 25 年度 統計みやこじま(平成 26 年 3 月)、宮古島市地域防災計画(平成 25 年度修正)、健康みやこじま 21(平成 25 年 3 月)、宮古島市健康の輪推進プラン(平成 20 年 3 月)、福祉避難所設置・運営に関するガイドライン(日本赤十字社)、平成 22 年 市町村別生命表(厚生労働省ホームページ)、平成 20 年～24 年人口動態統計特殊報告(厚生労働省ホームページ)